

平成28年度版

理研 BRC の植物リソース利用案内



2016年8月



国立研究開発法人理化学研究所
バイオリソースセンター
実験植物開発室



1. 事業について

理化学研究所バイオリソースセンター(理研 BRC)は、動植物個体から細胞、遺伝子、更には、微生物を事業の対象とする国際的にもユニークな生物遺伝資源の専門機関です。理研 BRC は、ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)の中核機関として、国内外の研究コミュニティとの緊密な連携のもと事業を進めております。

2. 実験植物開発室のリソースについて

当室は、NBRP「シロイヌナズナ/植物培養細胞・遺伝子」の中核機関としてモデル実験植物シロイヌナズナ(*Arabidopsis thaliana*)を中心とする個体、培養細胞、遺伝子リソースの収集・保存・提供事業を推進しています。また、穀物のモデルとして期待される単子葉の実験植物ミナトカモジグサ(*Brachypodium distachyon*)のリソース提供も行っています。

3. リソースの探し方について

シロイヌナズナの遺伝子破壊系統(トランスポゾンタグライン)や完全長 cDNA クローンは、開発者がつけた系統番号のほか、AGI code(シロイヌナズナの遺伝子番号)を使って検索します。また、cDNA リソースについては、Blast 検索のほか植物遺伝子の串刺しデータベース SABRE を検索に使うこともできます。

スクリーニング用プール種子や野生系統、個別の変異体、植物培養細胞は、ホームページ上の該当項目をご覧ください。ご不明な点は提供係までご遠慮なく質問ください。

4. 提供申込み方法について

研究目的であれば、原則産学いずれの機関にもリソースを提供します。初めて請求をなさる際には、ユーザー番号を取得ください。トランスポゾンタグラインや完全長 cDNA など電子オーダーシステムにより必要書類を入手できます。電子オーダーシステムから請求できないリソースは、提供係までお問合せください。なお、遺伝子組換え生物など、追加の書類が必要になるリソースがございます。ホームページ等でご確認ください。

5. 発送について

ご請求いただいたリソースは、書類到着後1ヶ月以内の原則月曜日または水曜日に発送します。やむを得ない事由で発送が遅れる場合や事前の打合せを要する培養細胞の発送は、その都度連絡し、発送日を確定します。

なお、当室のリソースを使用した研究成果を発表される際には NBRP により理研 BRC から提供された旨明記していただけると、リソース事業の効果を説明する際に大変助かります。利用者の皆様のご協力をお願い致します。

6. 提供手数料について

当センターでは、提供に必要な実費を提供手数料として利用者の皆様にご負担をいただいています。リソース発送後に請求書をお送りします。

平成 28 年度提供手数料

リソース名		単位	手数料(税込み)	
			非営利機関 ^{※1}	営利機関 ^{※2}
シロイヌナズナ	個別種子 (50 粒) ^{※3}	バイアル	¥3,100	¥6,200
	個別種子 (400 粒) ^{※3}	バイアル	¥6,300	¥12,600
	個別種子セット	100 バイアル	¥121,400	¥242,800
	プール種子個別化セット ^{※4}	50 バイアル	¥62,000	¥124,000
	プール種子 ^{※3}	セット	¥6,200	¥12,400
ミナトカモジグサ	個別種子 (50 粒) ^{※3}	バイアル	¥6,100	¥12,200
個別 DNA ^{※3}		バイアル	¥3,100	¥6,200
個別 DNA セット		100 バイアル	¥121,400	¥242,800
DNABook™ ^{※5}		冊	¥35,640	—
植物培養細胞		株	¥6,200	¥12,400
検疫証明		件	¥16,600	¥16,600
懸濁植物培養細胞継代培地 ^{※6}		件	¥1,000	¥1,000
プール種子から単離された個体の遺伝型解析サービス ^{※7}		件	¥9,300	¥9,300

- ※1 「非営利機関」とは、大学及び国公立の試験研究機関、高等専門学校、公益財団等、医療法人、教育機関(専門学校等を含む)です。
- ※2 「営利機関」とは、民間企業等、上記以外の研究機関です。
- ※3 「個別種子」「プール種子」「個別 DNA」は、リソース毎に 1 回のお申込みが 10 バイアル/セット以上で大量利用促進制度による割引が適用されます。是非ご利用下さい。
- ※4 特定のプール種子を構成する 50 ラインを個別にセットして提供します。
- ※5 DNABook™の発送は宅配便着払いとなります。
- ※6 シロイヌナズナ T87 培養細胞の最初の継代に必要となる培地がご利用いただけます。
- ※7 当センターより提供した野生系統のプール種子から単離された個体を対象に、遺伝型解析を行い、系統名を特定します。

7. 品質管理について

研究成果の信頼性を担保するためには、研究に使用する生物材料の品質管理が必要不可欠です。そこで当室では、提供するリソースについて種類別に定めた品質検査を実施しています。品質検査の詳細につきましてはホームページより「実験植物の品質管理」http://epd.brc.riken.jp/ja/quality_control をご覧ください。

8. 技術研修について

当室ではリソースの有効利用を促進するために、産学の研究者を対象とした技術研修を開催しております。平成 28 年度は以下の課題を開催しました。技術研修に関して、ご要望やご質問がありましたらお知らせください。

- 「シロイヌナズナ T87 細胞の維持及び外来遺伝子の一過的発現に関わる技術研修」
- 「植物培養細胞の超低温保存に関わる技術研修」
- 「形質転換等シロイヌナズナを用いた実験系の構築に関わる研修」
- 「ミナトカモジグサ (*Brachypodium distachyon*) の栽培に関する技術研修」

9. リソースの寄託について

理研 BRC では皆様の貴重なリソースをお預かりし、安全に保管するとともに広く世界の研究者に提供して研究の促進をはかります。寄託者の権利を「生物遺伝資源寄託同意書 (MTA)」に盛り込むとともに、寄託者へのクレジット提供サービス制度も整備しております。採種や保存の条件によっては、シロイヌナズナの種子は数年で発芽しなくなる恐れがあります。研究の成果物であるリソースの滅失を防止し、研究社会の貴重な財産として守るために、ぜひ寄託をお願い致します。理研 BRC への寄託により、第三者からの請求に対応する時間と手間を省くことができます。なお、退職、異動に伴いリソースの保管が困難になる場合には、当センターへの譲渡もご検討いただければ幸いです。手続きの詳細についてご説明しますので、ぜひ一度お問い合わせください。

10. お問い合わせ先について

〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-1-1
国立研究開発法人理化学研究所
バイオリソースセンター
実験植物開発室 提供係

TEL: 029-836-9067

FAX: 029-836-9053

E-mail: plant@brc.riken.jp

HP: <http://epd.brc.riken.jp/ja/>

表紙

「光強度と明暗周期を変えて培養したシロイヌナズナ T87 細胞株」

左より光量子束密度と明暗周期(括弧内)が 39.0 (16h light/8h dark)、27.4 (continuous light)、76.4 (continuous light)の条件でシロイヌナズナ T87 細胞株を培養した。

(光量子束密度の単位は $\mu \text{ mol m}^{-2} \text{ s}^{-1}$)